



R4年12月 No.2号

し え ん 便 い

みくまの支援学校支援部

巡回相談2学期のまとめ

サンタさん(3歳)→



本校のコーディネーターが保育所、幼稚園、学校を訪問して行う巡回相談、2学期は小学校、中学校から16件の相談がありました。主な相談内容としては、障害の理解と学習支援、授業の手立てなどがありました。

巡回相談では毎回コーディネーターの専門性の向上と充実した相談活動の実現に向け実施後のアンケートをお願いしております。

今回はその回答の一部を紹介したいと思います。

- A 小学校：長い期間悩んでいたことを的確に言語化していただき、安心することが出来ました。自分の指導や支援の仕方に日々迷いを感じながら過ぎていく中で先生方に話を聞いていただき、アドバイスをいただけたことは、私自身が安心して明日からの活力になりました。
- B 小学校：授業内容に注目させたいのか？作業内容に注目させたいかによって、児童への指示を減らすことも大切だと分かった。物事を二分化（できる、できない）するとは別の考え方でできるということを全体に伝えていきたいと思いました。捉え方が大切だと改めて思った。



(いずれも部分抜粋)



アンケートへのご協力ありがとうございました。みなさんの声大切に、質の高い教育相談活動を実施していきたいと思っております。

相談窓口の紹介 Tel0735-31-6101

「困難に立ち向かう心を育てるために」～キャリア教育について

コーディネーター研修・先輩の話を聴く会より 12/7・8

「好きなことを否定されずに十分楽しむことが大切だと思う。」

今回の研修会の冒頭、進路で不安になる生徒が多いという私たちの話の中でアドバイザーとして参加いただいた海野スクールカウンセラーの発言でした。

「なんだか分からないものを集めたりする子どもがいるでしょう。周囲の大人はその意味が分からなくて止めなさいとか、だめとか言ってその行為を否定して取り上げたりすることがあると思うんだけど、その行為を思い切り楽しめた子どもは心が強くなるように思うんです。「好きなことがある子、好きなことを大切にすることはキラキラしているんです」進路や職業教育についての話になるものと思っていた私はそのことばに聞き入りました。

その翌日、高等部では卒業生を講師に招いて行う「先輩の話を聴く会」が持たれました。今回の講師の一人、真砂誠さんは本校を卒業して10年目、現在ひまわり作業所で働いています。真砂さんは働き続けるためには「なんでもいい、好きなことを目一杯する時間を作ってほしい」、「好きを大事にしてほしい」と語りました。

文部科学省はキャリア教育とは「一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、キャリア発達を促す教育」とし、また「キャリア発達とは社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方実現していく過程」と定義付けしています。

好きなことを大切にする、自分らしい生き方を実現する。これらは即ち「自分を好きになる」ということではないのでしょうか。「困難に立ち向かう心を育てるために」子どもたちが「自分らしい生き方」を実現していく過程を教育が社会が担うことができているのか、今回の二つの研修会を通して問われたように思いました。

Co 浦木



コーディネーター等連絡協議会

令和4年12月19日(月)～令和4年12月26日(月) 各施設・個人単位での視聴期間

令和4年12月26日(月) 13:00より

本校会議室での視聴

講演会 テーマ「幼児期から学齢期の発達の道筋について～素敵な大人になるために～」

講師 くまのワーク&カレッジ指導員 河原京子氏

たくさんの申し込みありがとうございました！

